

城南家保ニュース Vol.29-3

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

メールアドレス iounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/kahojouan>



平成 29 年度 球磨・芦北地域家畜衛生推進会議を開催しました

平成29年5月24日、市町村、農業団体、県獣医師会人吉球磨支部・芦北支部、人工授精師協会等を参集し、平成29年度球磨・芦北地域家畜衛生推進会議を開催しました。昨年度の事業実績及び本年度の事業計画について確認と協力をお願いし、その他、具体的な取組として、地域衛生管理体制整備事業に係る肉用牛繁殖指導成績、病性鑑定実施状況、伝染病発生情報と管内の取組、飼養衛生管理基準の遵守状況等について説明を行いました。

また、昨年12月26日に南関町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）に係る防疫作業概要の説明も行いました。熊本県では、平成26年度に多良木町及び相良村で発生したHPAI事例を踏まえ検証・改善、マニュアル改正を行ってきましたが、今回の県内2例目の発生を受け、更なる改善を目指していくことを関係者へ伝達しました。

今後とも、家畜伝染病予防の推進及び畜産農家における生産性向上のため、事業実施への御協力をよろしくお願いします。

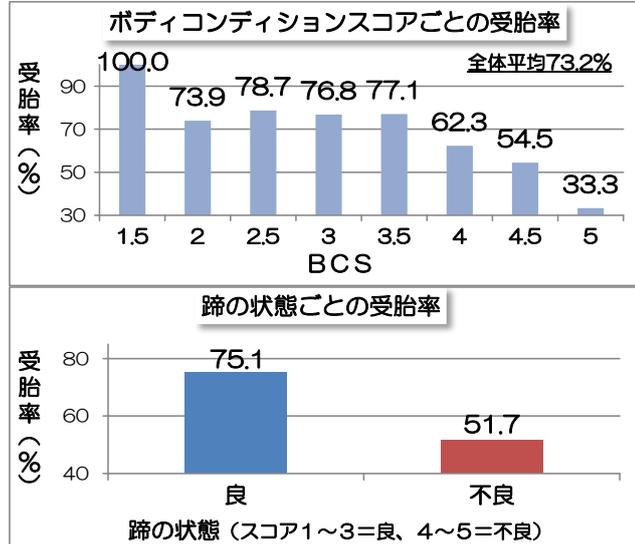
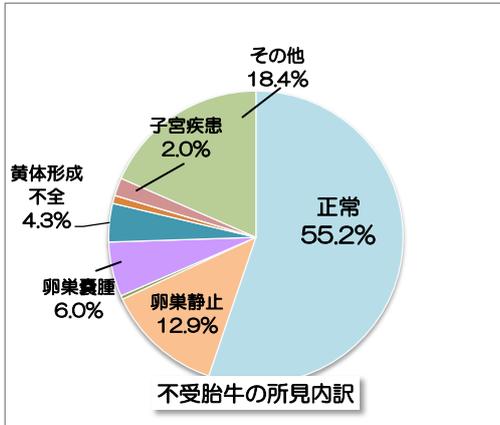


家畜衛生推進会議（5月24日）

平成 28 年度繁殖成績と BCS 及び蹄の状態の関係性について

城南家保が実施した肉用牛繁殖農家巡回の平成28年度実績の集計結果についてお知らせします。

延べ検査頭数は887頭（授精済み経産牛のみ）で、分娩後初回授精日数87日、再受胎日数112日、受胎率72.4%、1年1産達成率41.2%という結果でした。不受胎牛の所見内訳は円グラフのとおりで、半数以上が正常であり、①発情の見逃し、②鈍性発情が主な原因として挙げられます。また、受胎率とボディコンディションスコア（BCS）、蹄の状態との関係を見ると、BCSが高い（太り気味）牛、蹄の状態が悪い牛の方が受胎率が悪い傾向でした（右棒グラフ上下）。



発情を見逃さないため、①発情観察の回数を増やす、②繁殖記録の徹底、③発情発見器具の活用（テールペイント、牛歩、牛温恵など）、④飼料給与における栄養バランスの確認、⑤ビタミン、ミネラル不足の改善など日頃の飼養管理の見直しをしてみませんか。1年1産の達成には初回授精の早期化が最も重要となります。繁殖巡回時には妊娠鑑定だけでなく、分娩後の早い時期からの未授精牛の検診及び発情を示さない未経産牛の検診を積極的に受診され、異常の早期発見に努められますようお願いします。



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	中国	5月4日	牛	O型
高病原性 鳥インフルエンザ	台湾	4月19日~4月20日	がちょう・地鶏	H5N8
		4月29日	鶏	H5N2
	ベトナム	4月23日	家さん	H5N1

6月1日現在

編集後記 (M.M)

6月5日に梅雨入りが発表されました。雨ばかりでいやな季節に入りました。去年は熊本地震に続く大雨で土砂崩れなど心配された方々が多かったです。人間は、湿度や温度が高ければクーラーをつけ、心地よい環境を自ら作れますが、家畜たちは飼養者に頼るしかありません。繁殖成績の改善も飼養者に掛かっています。ぜひ、自分の家畜たちの視点に立った環境作りに取り組んでください。